

# 看護職員の負担軽減及び処遇改善のための取り組み

項目	2025年度計画	具体的な取り組み	評価	2026年度計画
業務量調整	時間外労働が発生しないように業務量を調整 タスクシフト・シェアを推進	各部署の状況に応じて他部署から看護師の応援体制をとった 各部署の残務業務を声掛け合う協力体制の強化 看護DXを活用していく体制作り	各部署の時間外業務が全体で23%削減できた 看護DXの活用を進めていく体制を作った	更なる時間外業務の短縮のため業務改善 をしていく 更なる看護DXの強化をする 2026年度も継続
他職種との業務分担				
薬剤師	全病棟薬剤師配置により持参薬の確認、 退院時指導の実施 救急カート点検の実施	内服管理指導・退院時指導することで、誤薬確認、服薬確認、薬 の説明や退院時の最終チェックと薬の手渡しをする プレアボイド報告により処方された薬を電子カルテ上で薬効・重複・相互作用・処方もれを指摘 定期的な救急カート点検を実施	病棟薬剤師配置にてすぐ確認、疑問解決→時間削減できた。 退院時指導は67.6%できた。プレアボイド報告は毎月70件程度報告され、早期発見、安全の向上（未然に回避・軽減）した。期限切れ点検・使用頻度確認できた	薬剤師による配薬管理の実施 在庫管理・期限切れ管理の実施 薬剤請求をタブレット活用による運用・管理 他は2026年度も継続
理学療法士	病棟で自身で動けない患者を動けるように、また食べられるようにリハビリテーションを実施する 土曜日祝日のリハビリテーション実施 吸引処置の実施	高齢患者の入院が増える中、看護師が行っている術後離床を看護する患者は増加している。リハスタッフの介入により早期離床、一部体重計測、バイタルサイン測定の実施あり早期異常発見ができる。リハスタッフへ吸引指導することで嚥下訓練時、食事指導等において必要時吸引をすることができる	入院患者の75%が70歳以上であり、個別性にあったリハビリテーションを実践することで病棟看護師の負担は軽減している。土曜日祝日のリハビリは85%実施 リハスタッフの56%が吸引を実践できるようになった	引き続き2026年度も継続 リハスタッフへの吸引できるメンバーを増やす
システムエンジニア	看護管理基準・用具点検表の電子化 勤怠管理の電子化 患者説明動画作成	基準内容を加修正し電子化した（ペーパーレス化） 全部署勤務入力を電子化にする 各部署が患者説明動画を作成しタブレットを活用して説明をする、視覚でイメージしやすく、何度もいつでも視聴可能となった	看護管理基準を電子化することができた（88%完成） 勤怠管理を電子化（100%）することができた ペーパーレス化、印刷、作業時間の削減ができた。動画は患者からの受け入れもよい。（90%）業務効率（85%）	勤務届用紙・看護用具点検表の電子化 看護管理基準の見直し 薬剤管理の電子化 多数の患者説明動画を作成し管理する
看護補助者配置	病棟クラークの配置  患者の移送	病棟クラーク配置により、電話取り次ぎ、面会対応、入院退院準備、入院案内、カルテ整理等の業務を実施 担当看護師の指示のもと状態が安定している、軽介助での移送・移動については看護補助者が行う	看護業務の円滑化、効率化時間外業務軽減に繋がった（15分） 委員会を開催することで業務の統一（85%） 情報共有することができた（91%）	引き続き2026年度も継続 間接業務スタッフを増員
	全部署に看護補助者夜間配置 看護補助者クリニカルラダーを作成する （教育・医療安全・感染対策・役割業務の強化）	全部署に看護補助者を夜間配置するための人員採用、教育、マニュアル作成、ラダーを作成し計画的に実施する 患者の検査搬送介助、夜間入院患者の介助、高齢患者の見守り、清掃、環境整備、食事介助、排泄介助、入浴介助の実施	夜間看護補助者を全部署に配置することができた。 マニュアル作成が完成して業務内容の統一ができた クリニカルラダーを作成したことで、標準的な評価可能	マニュアル内容とクリニカルラダーの見直しと周知 引き続き2026年度も継続
管理栄養士				給食用箸を病院より配膳することで個別 洗浄不要にする（感染視点からも）
多様な勤務形態の導入				
妊娠子育て中介護職員に対する配慮	夜勤の減免 所定外労働の免除 時間外労働の制限 所定労働時間の短縮 日勤常勤勤務制度 男性看護職員の育児取得 子の看護等休暇	当該職員の申し出により、夜勤を免除 当該職員の申し出により、所定外労働免除 当該職員の申し出により、時間外労働免除 当該職員の申し出により、所定労働時間の短縮措置を講じる 当該職員の申し出により、日勤常勤制度を取得させる 当該職員の申し出により、育休を取得させる 当該職員の申し出により、休暇を取得させる	申し出職員には申し出通り各部署対応した（100%）	引き続き継続
	復帰後の職務 半日休暇制度	円滑に職場復帰できるように本人と相談する 有休休暇について半日単位で取得可能	個人の意向・環境にあわせた配置（100%） 半日休暇によりスタッフの働き方改革にも繋がった	引き続き継続
				柔軟な働き方を実現するための措置 子育て短時間勤務・時差出勤の制度 介護短時間勤務制度